

令和元年度 北斗市立小・中学校 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

この調査は、文部科学省が幅広く全国の児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施していますが、実施教科が小学校は2教科、中学校は3教科のみであることや学習指導要領の全体を網羅するものでないことなどから、調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一面に過ぎないことに留意することが必要です。この結果だけで、学校や児童生徒の評価をしないでいただきたいと思えます。

北斗市教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を例年のように大規模校についてのみ公表することいたしました。今後も、学校、保護者、地域と一体となって学力向上や学習環境の整備に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

北斗市教育委員会

調査の概要

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るために調査を行っています。また、各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てるための調査です。

I 調査対象

国・公・私立学校の小学校6年生、中学校3年生の原則として全児童生徒を対象としています。

II 教科に関する調査

○小学校は、国語及び算数、中学校は、国語、数学及び英語を調査します。

○出題範囲は、調査する学年の前学年までの範囲で、出題は、以下のアとイを一体的に出題します。

ア 身に付けておかなければ後の

学年の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などの内容。

イ 知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容。

III 生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

○児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境や生活面に関する調査をします。

○学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況などに関する調査をします。

IV 正答数の少ない層について

全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童生徒の割合を示しています。「正答数の少ない層」の割合は、低いほどいいこととなります。

小学校

教科に関する調査

〈平均正答率〉

	6年生421名		
	国語	算数	2教科計
北斗市	73.0	69.0	142.0
全道	63.0	64.0	127.0
全国	63.8	66.6	130.4
全道差	10.0	5.0	15.0
全国差	9.2	2.4	11.6

○北斗市では、必要最低限の学力を全ての子どもたちに身に付けさせる

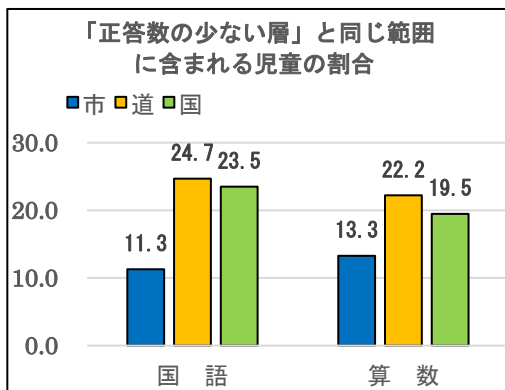
ため、「正答数の少ない層」の底上げを重点とし、その結果として小・中学校ともに、各教科の平均正答率が全国以上になることを目指しています。

小学校では、国語、算数ともに、全国・全道の平均正答率を上回っています。北斗市が目指す目標を達成しました。

○国語では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全てで、全国の平均正答率を上回っています。

○算数では、「数と計算」、「図形」、「数量関係」で、全国の平均正答率を上回っています。「量と測定」で、全道平均を上回りましたが、全国平均を下回りました。

〈正答数の少ない層の状況〉



○全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる北斗市の児童の割合を示しています。割合が低いほどいいこととなります。

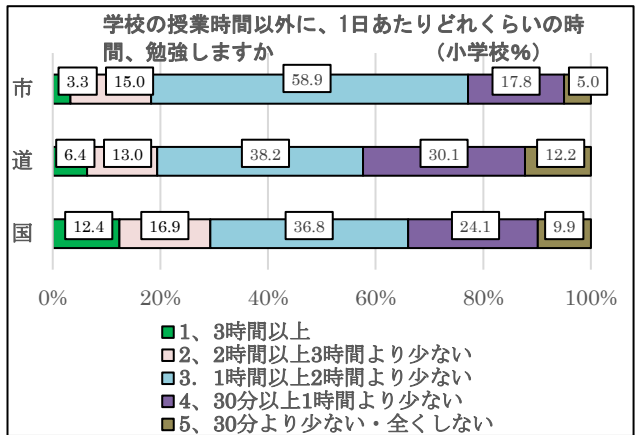
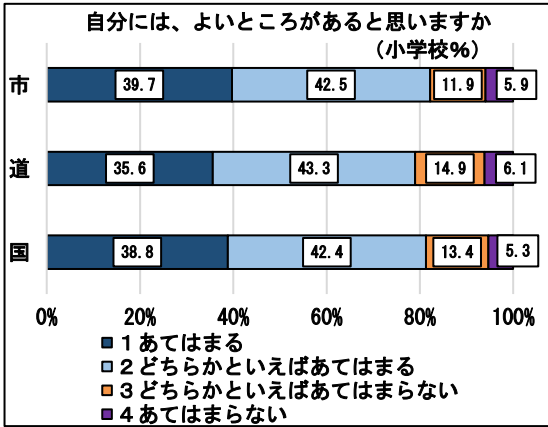
○小学校では、国語、算数ともに、全国・全道の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合が下回っています。

《無解答率の状況》

○国語14問中、1問で全国・全道の無解答率と同じですが、他の13問で全国・全道を下回りました。

○算数14問中、1問で全道を上回りましたが、全国を下回りました。他の13問で、全国・全道を下回りました。どの問題にも粘り強く取り組んだことがわかります。

児童に対する質問紙調査



○「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に、「あてはまる」と回答した割合は、39.7%で、全国・全道を上回っています。(全国38.8% 全道35.6%)

自分のよさを肯定的に認めることができる児童生徒は、進路の目標が明確だったり、人間関係が良好だったり、学校のきまりをすすんで守るなど、良い傾向にあるといえます。また、「人の役に立ちたい」と思うなど、他人を大切にすることが育っています。

「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「持っている」と回答した割合は、68.4%で、全国・全道を上回っています。(全国65.9% 全

道64.2%) およそ70%の児童が将来の夢や目標を持っています。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に、「あてはまる」と回答した割合は、77.7%で、全国・全道を上回っています。(全国74.7% 全道73.8%)

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日まで)で、学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)、1日あたり1時間以上勉強している割合が77.2%で、全国・全道を上回っています。(全国66.1% 全道57.6%)

○朝食を毎日食べている割合が83.1%で、昨年より2.8%増加しましたが、依然、全国・全道を下回っています。(全国86.7%、全道84.0%)

学力向上の取組

	国語	算数	2教科計
A	73.0	65.0	138.0
B	74.0	71.0	145.0
C	71.0	72.0	143.0
D	75.0	72.0	147.0

小学校A校

○四則計算の力を高めるため、朝自習の100マス計算や全児童の放課後

学習を実施しています。

○「書く」力の向上を図るため、主述関係などに留意させ、字数を制限するなど、日記に取り組みさせています。

○各教科で音読する場面を設定し、題意を的確に把握する力の向上を図っています。

小学校B校

○指導計画に、子どもたちの学習結果を記入し、未定着の学習について、指導の工夫や補習を行っています。

○基礎基本の確実な習得を図る授業と活用する授業を明確にし、授業を実践しています。

○算数で、学習が未定着な子どもを減らすために、TT体制の指導や習熟度別に少人数で指導しています。

小学校C校

○各種テストの数値目標の設定やタブレットの積極的な活用により、授業改善や不得意分野の定着を図っています。

○「家庭学習パワーアップ期間」を設け、家庭と連携を進めながら、家庭学習の習慣化を図っています。

○「学習や生活のきまり」の見直しや中学生によるサポート学習の補助など、小中連携を進めています。

小学校D校

○授業で身に付けた知識などを活用

し、考えを伝え合い、考えを広げ深められる授業づくりを工夫しています。

○定着率の低い課題など、全教職員で共有した授業づくりを努め、計画的に少人数で授業を行っています。

○朝自習や放課後学習などで定着率を確認しながら、個に応じた指導の充実を図っています。

中学校

教科に関する調査

《平均正答率》

	3年生 399名			
	国語	数学	英語	3教科計
北斗市	73.0	60.0	50.0	183.0
全道	72.0	58.0	54.0	184.0
全国	72.8	59.8	56.0	188.6
全道差	1.0	2.0	-4.0	-1.0
全国差	0.2	0.2	-6.0	-5.6

○中学校では、国語、数学の2教科で全国・全道の平均正答率を上回っています。英語では、全国・全道の平均正答率を下回っています。

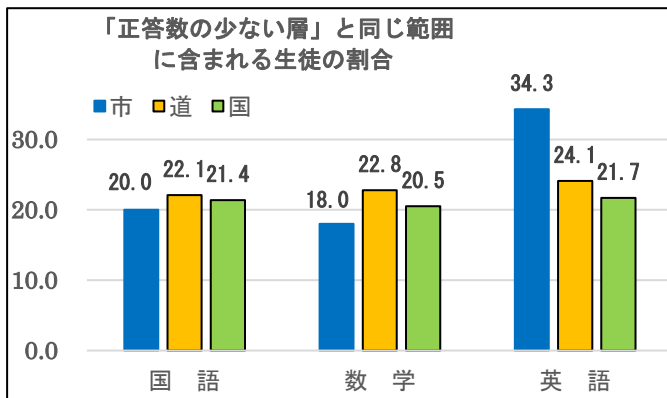
○国語では、「話すこと・聞くこと」で、全国・全道の平均正答率を上回っています。「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に

関する事項」で、全国の平均正答率と同じですが、全道を下回っています。

○数学では、「数と式」では、全国・全道の平均正答率を上回っています。「図形」、「資料の活用」で、全道の平均正答率を上回りましたが、全国の平均正答率を下回りました。「関数」で、全国・全道の平均正答率を下回っています。

○英語では、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」で全国・全道の平均正答率を下回っています。今回は参考値ですが、「話すこと」で全国の平均正答率を下回っています。

《正答数の少ない層の状況》



○中学校では、国語、数学の2教科で、全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合が下回っています。英語については、全国を上回っています。

《無解答率の状況》

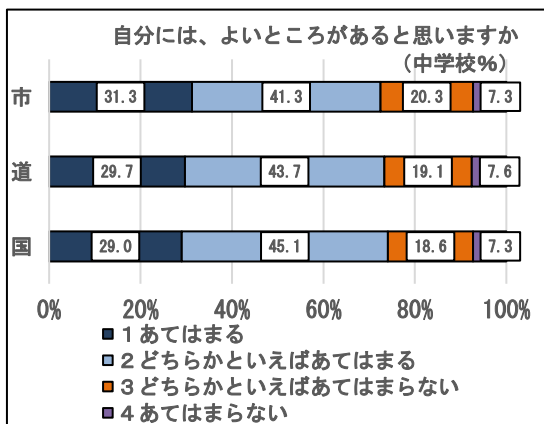
○国語全10問で、全国の無解答率を下回りました。

○数学全16問で、全国の無解答率を下回りました。

○英語21問中、1問が全国の無解答率を上回り、他の20問で全国を下回りました。

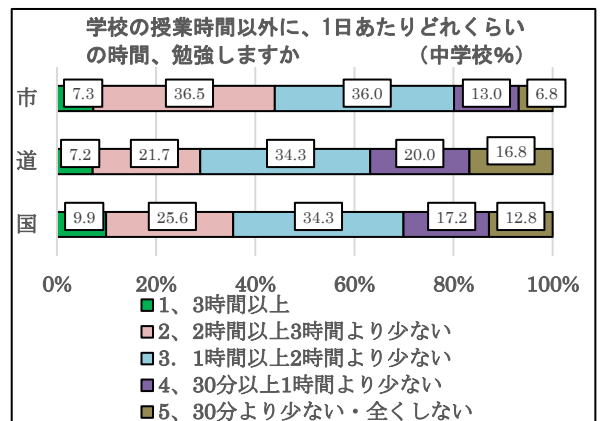
○北斗市の生徒は、最後まであきらめないで問題に取り組んでいたことがわかります。

生徒に対する質問紙調査



○「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に、「あてはまる」と回答した割合は、北斗市31.3%で全国・全道を上回っています。(全国29.0% 全道29.7%) 小学校同様、自分のよさを肯定的に認めることができる生徒は、進路の目標が明確で、「人の役に立ちたい」と思うなど人を大切にする傾向も伺われます。

「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合は、77.8%で全国・全道を上回っています。(全国70.5% 全道70.6%) 小学校よりさらに多くの生徒が将来の夢や目標を持っています。また、「人の役に立つ人間になりたい



「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合は、96.6%で全国・全道を上回っています。(全国94.3% 全道94.0%)

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日まで)、学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含むで、1日あたり1時間以上勉強している割合が79.8%で、全国・全道を上回っています。(全国69.8% 全道69.2%)

○朝食を毎日食べている割合が81.5%で、昨年より大きく増加しました。(昨年73.4%から81.1%ポイント増)全道平均を上回り、全国との差がわずかとなりました。(全国80.3% 全道80.8%)

学力向上の取組

	国語	数学	英語	3教科計
A	71.0	57.0	48.0	176.0
B	73.0	59.0	49.0	181.0
C	74.0	63.0	53.0	190.0

中学校A校

○書くことの力を伸ばすために全教科で意識的に取り上げています。また、毎月一週間、放課後に補充学習

も行っています。

○授業始めに目標提示、終わりにまとめ・振り返りを行い、生徒が見通しをもつて主体的に授業に臨めるよう、授業の工夫をしています。

○朝読書を習慣化し、落ち着いた1日のスタートを意識化しています。

中学校B校

○習熟度別授業、授業のめあてとまとめの明確化、生徒からの授業アンケートなどで授業改善をすすめています。

○ハイレベル講習会、長期休業中・放課後の学習会、朝学習・新聞書写、小テストなど様々な補充学習の機会を確保しています。

○家庭学習と確かめテストのサイクルの習慣化を図っています。

中学校C校

○各種調査の結果を分析し、定着率の低い学習内容を重点的に指導するよう計画を見直しています。

○考えを伝え合う活動や論理的文章を書く活動を取り入れ授業の改善を図っています。

○習熟度別授業や放課後・長期休業中の学習サポートを通して個に応じた指導を行っています。

北斗市の子どものよさ

○「はじめは、どんな理由があつてもいけない」とだと思いませんか」という質

問に対し、「あてはまる」と答えている児童生徒の割合が全国・全道を大きく上回っています。(小学生 市95.0% 全国85.0% 全道87.2% 中学生 市91.3% 全国78.3% 全道79.3%)

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対し、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と答えている児童生徒の割合が全国・全道を上回っています。(小学生 市91.3% 全国87.9% 全道86.3% 中学生 市86.3% 全国85.9% 全道84.1%)

○児童生徒に対する質問紙調査でも述べましたが、「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いませんか」などの質問からも北斗市の子どものよさが伺われます。

学校のよさと取組

○子どもたちの学力の定着のために、学校が一丸となって普段の授業の改善に取り組んでいます。

○放課後や長期休業中に補充学習に取り組んでいます。

○教職員は、子どもたちのよさや可能性を褒めたり、励ましたりしています。「先生は、あなたのように」と認めてくれていると思いませんか」という質問に、「あてはまる」と答えた割合が小中ともに全道・全国を上

回っています。

家庭へのお願ひ

○「毎日、同じくらの時刻に寝ている」「毎日、同じくらの時刻に起きている」と答えた児童生徒の割合が、高くなっています。

子どもたちの基本的な生活習慣の確立が図られている傾向がわかります。今後も、ご家庭で、こうした習慣を持続させることにより子どもたちを健やかに育てていきましよう。

○今年度の調査では、「自分にはよいところがある」など、子どもたちの自己肯定感の高まりがみられました。学習や生活で好ましい行いをしたときにほめられることは、子どもたちの自信につながります。ぜひ、ご家庭でもほめることにより、子どもたちのやる気を伸ばしてあげてください。

○今年の調査では、テレビやゲーム、インターネットなどに関する質問項目がなかったため、その傾向をつかむことはできませんでした。しかし、ネットトラブルや依存症など、懸念される問題は、依然として増加傾向にあります。ご家庭におかれましては、お子さんと十分話し合い、ルールを定めるなど、引き続きお願いいたします。